

## 低温・日照不足に伴う水稻栽培対策会議の開催について

### 1 目 的

県内では、6月末から日照時間の少ない状態が続いており、また、7月5日頃から日平均気温が20℃を下回る低温が続いています。

このような中、7月10日現在における生育調査の結果によると、県内の水稻は概ね幼穂形成期に達しており、今後、稲作で最も重要な時期を迎えることとなります。

そのため、関係機関で情報を共有するとともに、低温・日照不足時における栽培管理の留意点や今後の対応等について意識統一を図るため、以下のとおり会議を開催します。

2 主 催 宮城県米づくり推進本部

3 日 時 令和元年7月17日（水） 午前10時から午前11時まで

4 場 所 自治会館 3階 301会議室

### 5 内 容

- (1) 気象経過と今後の予報について
- (2) 水稻の生育状況と出穂期の予測について
- (3) 病虫害（いもち病等）の発生状況について
- (4) 農業用水の状況について
- (5) 今後の技術対策について
- (6) その他

### 6 参集範囲

仙台管区气象台、宮城県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会宮城県本部、宮城県米穀集荷協同組合、宮城県米穀肥料商業協同組合、宮城県農業共済組合、宮城県農業会議、みやぎ農業振興公社、古川農業試験場、病虫害防除所、県庁関係各課室、各米づくり推進地方本部